

フレジデント プレジデントムック
Family 東京五輪までにグローバルキッズに！

2016
完全
保存版

1 章
超入門編

2 章
家庭教育編

3 章
メソッド・体験編

4 章
進学・留学編

5 章
グローバル編



こども 英語 大百科



Preparing
to Succeed
in a
Global Society

英語教室、短期留学、サマースクール……うちの子に向いているのは？

幼児期、小学生は何をやらせればいいの？

ハーバード、イエールを目指すには？

国際化、受験激変。

これだけで大丈夫！



We are good friends



Have a nice day What would you like? Take care

01

海外留学予備校

ハーバード入試対策のパッケージ費用は50万円から

アゴス・ジャパンの場合
TOEFL 対策総合パッケージ 100点
47万5200円

SAT 対策
6万~20万円

英文エッセー指導 1回
(通常5~10回の受講が標準的)

1万8000円

年間費用(目安)
50万~90万円

ルートHの場合
月額授業料基本料金
2万5000円

その他オプション 個人差あり
年間費用(目安)

50万~75万円

東 大は滑り止め、本命はハーバード大——。そんな目標を掲げる受験生が最近増えつつある。いついどん勉強をすれば、その夢が現実になるのか。

米国の大学を受験するには、英語力を測るためのTOEFL iBTスコア、高校の学業成績、SAT(大学進学適性試験)という米国のペーパーテストのスコア、そしてエツセー作成が必要になる。

アイビーリーグクラスの大學生となれば、求められる英語力や学力は超ド級だ。「英語力はTOEFL iBT(120点満点)で100点がボーダーラインでしょう」というのは、留学指導専門校アゴス・ジャパンの松永みどり氏。ちなみに、日本人受験者のTOEFLスコアの平均点は71

点、東大生の平均点でも80点程度というところだ。SATのリーズニングテスト(1600点満点)で9割以上、英語のリーディングと数学の合計で1600点満点中1300~1400点は欲しい。日本の高校に普通に通つていただけでは、合格はおぼつかない。

こうしたチャレンジをサポートするための「受験生ごと・大学ごとに個別の学習プランを立てていくため、カリキュラムはとくに作っています。

ルートHの場合は、「受験生ごと・大学ごとに個別の学習プランを立てていくため、カリキュラムはとくに作っています。」

「東大や京大を併願する生徒も多く、その場合は別途に受験勉強の手間もかかる。」「圧倒的な学力は大前提ですが、それだけでは受からない。

「F」

その子よりのオリジナリティが出来るような体験、それを表現したエッセーも大事になってくる」(ルートH、藤井氏)いつごろから準備を始めればいいのか。

「英語圏での生活経験がない場合、中3から高1の段階で、真剣にTOEFLを見据えた勉強を始めたときに合わないと思います。SAT対策に付いては、高2からでも大丈夫でしょう」(アゴス・ジャパン、松永氏)

何より必要なのは、リスクを取りに行く覚悟だ。「東大なら合格可能性が80%あるような子が、合格可能性の読めないハーバード大に挑戦するわけです。確率論で将来の保証を求めるなら、素直にリスクを取つてでもやりたいことがしたい、それを通じていつか社会にインパクトを与えるたい——そんな強い意志の持ち主なら、アイビーリー

世界のトップ大学を狙え!

海外留学の効果にはさまざまある。語学力アップ、専門性アップ、

教育環境の充実、人脈の広がり、就職のしやすさ……。

ただ、留学経験者の多くは、「精神的にタフになった」ことを挙げる。

奨学金を得られればゼロ円での実現も可能だ。

LET'S TRY!

Ivy League,
Graduate school in the UK,
Art college.....



米国名門私立

奨学金なしの留学はヘビー。4年間で2800万円前後の投資

ハーバード大学の場合

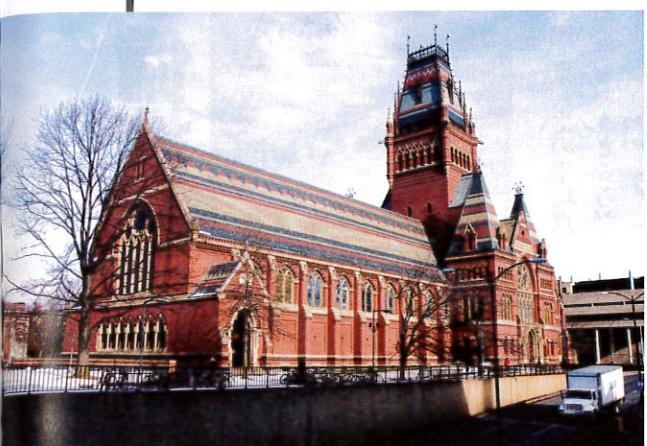
年間授業料	498万円
年間住居・生活費	169万円
年間書籍代など	41万円
学費免除 (世帯年収715万円以下)	▲498万円
年間費用 (学費免除にならない場合)	約700万円
4年間総額	約2800万円

各大学公式HPに学費免除の試算フォームがあり、世帯資産や世帯年収を入力すれば、自分の学費がいくらまで免除される。

03

米国「ミュニティ・カレッジ

アイビーリーグより1000万円安く済む「編入プラン」



日本では考えられない
教育サービスを誇るハ
ーバード大学。年間700
万円の留学費は適正価
格だと専門家はいいう。

海 外留学と聞いてます思
いつくのが、各種のラ
ンキングで東京大学をはるか
にしおぐ、世界トップ大学へ
の留学。とりわけ、ハーバー
ドやイエールなど「アイビ
リーグ」と呼ばれるアメリカ
東部の八つの名門大学やマサ
チューセッツ工科大学(MIT)
、西海岸ではスタンフォード
大学やカリフォルニア工科
大学(Caltech)は、留学志望
者のあこがれの的だ。

とはいって、これらの大学は
いずれも私立で、学費も世界
最高水準。ハーバード大学の
年間授業料は4万5278ドル
(約498万円)もするが、
これでもアイビーリーグでは
一番安い。スタンフォード大
学は年間4万6320ドル(約
509万円)、コロンビア大
学は5万1008ドル(約

561万円)もかかる。
留学中の生活費や書籍代も
考えなくてはならない。大学
にもよるが、寮費と食費の合
計は140万~160万円ぐら
い。書籍代や被服費、電話
代などの費用も、およそ年間
30万~40万円ほどはみてお
いたほうがいい。

したがって、アメリカの一
流私大に進学した場合の1年
間のコストはおよそ600万
~700万円、4年間のト
ータルコストは2400万~2
800万円ということになる。
東京で下宿しながら私立大の
文系学部に通う場合の、ほぼ
4倍の出費を覚悟しなければ
ならない。

とはいって、この金額の高さ
は不自然なものとはいえないよ
うだ。むしろ、教育の対価と
しては適切な価格と見られる
専門家も多い。

「学生が勉学のため
に利用できるリソース
が、日本の大学と
は比較にならないほ
ど豊富です」と説明
している。

日本では考えられない
教育サービスを誇るハ
ーバード大学。年間700
万円の留学費は適正価
格だと専門家はいいう。

財政の面にも表れている。た
とえばイエール大学の場合、
学部・大学院を合わせた学生
数は東大の半分以下。だが、
教職員数は逆に東大の1・3
倍、年間予算は1・1倍とも
ころ上回る。単純計算すれば、
学生一人あたりに東大の倍以
上の人才とコストを投入して

いるといえるだろう。
また、日本の大学以上に授
業料減免や奨学金の恩恵を受
けている。

ハーバード大学の場合、比
較的高収入の家庭の子弟も授
業料減免や奨学金の恩恵を受
けている。

するには、留学指導専門校、
アゴス・ジャパンの松永みど
り氏だ。

「例えば、課題をこなすのが
困難な場合、チューターとい
うサポート制度があり、無料
で個人指導を受けることが可
能です。また、研究実験のた
めに被験者を集める費用や、
海外フィールドワークに出る
費用まで、大学に申請すれば
支給されます。キャンパスの
施設も非常に充実しており、
夜中まで図書館やコンピュー
タラボが開いていて、大量の
コピーも無料でできるなど、
授業以外でかかる費用が含ま
れているのです」

F

するには、留学指導専門校、
アゴス・ジャパンの松永みど
り氏だ。

充実しているのも魅力だ。最
近は多くの大学で、「ニード・
ベースド・ファイナンシャ
ル・エイド」と呼ばれる、家
庭状況に応じた学費の減免措
置が導入されている。たとえ
ばハーバードやイエールの場
合、世帯年収6万5000ド
ル以下の学生は授業料を全額
免除される。

業料減免や、奨学金の制度が
充実しているのも魅力だ。最
近は多くの大学で、「ニード・
ベースド・ファイナンシャ
ル・エイド」と呼ばれる、家
庭状況に応じた学費の減免措
置が導入されている。たとえ
ばハーバードやイエールの場
合、世帯年収6万5000ド
ル以下の学生は授業料を全額
免除される。

界のトップ大学を狙え!

4 年間で2千万円なんて、
とても我が家には払え
ない——アイビーリーグ留学
にかかる金額を見て、そんな
感想を抱く親御さんは少なく
ないだろう。金銭面だけでは
なく、高い語学力が求められる
のも大きな負担だ。だが、ア
メリカ留学をあきらめるのは
まだ早い。

「留学費用を安く上げる方法
があります。それはコミュニ
ティ・カレッジに2年通つて、
州立大に編入学することで
す」と語るのは、アゴス・ジャ
パンの松永みどり氏だ。

「日本だと短大や専門学校と
いうと“手に職”というイメ
ージが強いですが、米国では
4年制大学編入コース」に

通り、州立大学に編入する人
が多い」(松永氏)

カリオルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)や同パークレー校(UCB)といった州立大学のトップ校も、コ ミュニティ・カレッジから毎年多数の編入学者を受け入れている。

「名門の州立大であれば、研究や教育の点で、有名私立大
に比べると、編入料金が安
くなる」と語るのは、アゴス・ジャパンの松永みどり氏だ。

「留学費用を安く上げる方法
があります。それはコミュニ
ティ・カレッジに2年通つて、
州立大に編入学することで
す」と語るのは、アゴス・ジャ

パンの松永みどり氏だ。

「日本だと短大や専門学校と
いうと“手に職”というイメ
ージが強いですが、米国では
4年制大学編入コース」に

数万ドル単位で留学費用を
節約するには、それなりの努力が必要なようだ。

F

カリオルニア大学バークレー校。裕福でない米国人の多くが、コミュニティ・カレッジを経由して州立大学に入学する。

U.C.Bの場合、州民
約1万3千ドルに対
して、U.C.Bは州民
の2年間で800万
円近くの費用が浮く
計算になる」(松永氏)

F

コミュニティ・カレッジ
州立大学の年間費用

コミュニティ・カレッジ
年間授業料 90万円

ニューヨーク州立大学
年間授業料 187万円

カリフォルニア州立大学
年間授業料 195万円

イリノイ州立大学
年間授業料 338万円

年間生活費・住居費
(内陸部など)
120万円
(東海岸・西海岸)
240万円

4年間総額
1000万~
1400万円

*州立大学の場合、大学から
の奨学金は州民優先。
※州立大学は州民とそれ以外
(留学生含む)で学費が
倍以上違う。奨学金は米市民
と永住権者に優先で割り
当てられるため、留学生の
取得は困難。

UCBは世界大学ランキン
グ(Times higher education)
で13位、UCLAも16位と高
い評価を受けている。

「アイビーリーグクラスの超
名門校に入学すると、寮費も
費用がかかる。一方、コミュニ
ティ・カレッジの留学生向
け学費は年7000~1万ドル
ほど。1、2年次

の2年間で800万
円近くの費用が浮く
計算になる」(松永氏)

「アイビーリーグなどの名門
校へ出願する場合、TOEFL
iBTは100点以上が
必要。さらにSATやACT
などの統一試験でも高いスコ
アをあげなければならないが、
コムニティ・カレッジであ
ればTOEFL iBT 45~

F

コアは不要

T.O.E.F.L i.B.Tの日本

F

「コミュニケーション能力
やUCLAのような名門州立
大学へ編入するには、学年で
トップレベルの成績を維持し
なければ難しい。そのため、
コミュニケーション・カレッジ入学
時の段階である程度の英語力
(最低でもT.O.E.F.L i.B.T 60
点以上)や学習習慣がなければ
なりません。大学での成績評
価は定期テストだけでなく、
リポートの提出や授業への参
加態度なども大きく影響しま
す。現地学生の倍の学習量を
こなし、週末も返上する覚悟

が必要です」(松永氏)

F

理系エリート大学院

トップ校なら自己負担ゼロ円

理系トップ大学院年間費用の例

スタンフォード大学院理系
年間授業料等

483万6700円

年間生活費

240万円

年間合計費用

723万6700円

授業料免除

▲482万6700円

RA、TA

▲290万円~

ローター奖学金

▲276万円

日本学生支援機構
海外留学給付型奖学金

最大▲428万円

実質自己負担

0円

米国では大学院生は給料をもらいう側。RAやTAなどもあるので、資金面での心配はない。

昨

今は大学の理系学部が高い人気を誇っているが、理系学部に進学した場合、ほとんどの学生が大学院で修士号を得てから就職する。

企業も大学も大学院進学を前提に採用や教育をしている。どうせ大学院に進学するなら、国内より海外に出たほうがいい。理系の場合、行き先は断然米国がおススメ

今は大学の理系学部が高い人気を誇っているが、理系学部に進学した場合、ほとんどの学生が大学院で修士号を得てから就職する。企業も大学も大学院進学を前提に採用や教育をしている。どうせ大学院に進学するなら、国内より海外に出たほうがいい。理系の場合、行き先は断然米国がおススメ

日には何人のノーベル賞受賞者とそれ違うこともあります。優秀な教授を世界中から集めています。欧米先進国だけではなく、ロシアや中国、インドなどからもトップエリートが集まっているので、米国の理系大学院への留学は世界留学と言われば、英語力は言うに及ばず、国際感覚の養成にも大いに貢献します

京都大学准教授の青谷正安氏はそう断言する。青谷氏は20年間の滞米中15の大学、短大で教壇に立ち、現在は京都大学の国際高等教育院に勤務している。近年、留学生の行き先に占める米国の割合は低下傾向にあるが、米国を推薦する理由について青谷氏はこう語る。「研究者の層の厚さが違います。名門の大学であれば、一

米国に留学するともなれば、理系でも文系でも非常に高額な学費が必要になりそうだが、実態は逆だという。

「米国では学部生はお金を払うのですが、大学院の学生はお金を持って研究をします。特にトップテンなど上位校の大院であれば、文系・理系にかかわらず、学生は金員、授業料が全額免除となります。

さらにRA(研究活動)やTA(テストの採点・講義助手など)をやることで、年間290万円以上の生活費がもらえます。RAやTAの職は在

米国では理系は企業への就労が必要な学生も、そうでない学生も合否決定は平等に行われます。しかし、それ以外の大学では、受験の出願時に「金銭的な支援がなくても入学をするか」というチェック

こうした恩恵を受けられるのはトップレベルの大学院に合格できる学生と、それ以外の大学院に上位の成績で入学できる学生に限られるようだ。大学も優秀な大学院生を獲得するために必死になっている。予算の原資は学部生の高額な学費や教授が外部から獲得してくる助成金です」

ここまで聞くといふことは、一度のようだが、優遇措置はあくまで「優秀な人材を呼び込み、いい研究成果を残していくことがでります。理系の場合で、応募資格が特定の研究や専攻に限定されている奖学金が文系よりも多いので、より資金面で充実します」

ここまで聞くといふことは、一度のようだが、優遇措置はあくまで「優秀な人材を呼び込み、いい研究成果を残していくことがあります。理系の場合は、応募資格が特定の研究や専攻に限定されている奖学金が文系よりも多いので、より資金面で充実します」

F

05 英国1年制大学院

「海外院卒」の称号を1年で。費用は奖学金なしで390万円

イースト・アングリア大学大学院の場合

年間授業料
227万円

年間住居費・生活費
160万円

年間費用合計
387万円

チーブニング奖学金
授業料と同額

IELTS 奖学金
▲48万円

BCJA 奖学金
▲15万円

日本で2年間大学院に通わせるより安い。また、1年で帰国できるため就職活動への支障も少なくて済む。

才 ツクスフォードやケンブリッジを筆頭に、世界でもトップクラスの大学が揃うイギリス。

12世紀から続く伝統あるキャンパスで学びたいと、留学生からの人気も多い。イギリス得意とする教育、研究分野は、金融工学や開発経済学など。

しかし、イギリスの大学は非常に困難だという。

「イギリスの学部は専門課程3年間のため基本的に日本の高校から直接入ることはできません」と留学指導専門校アゴス・ジャパンの松永みどり氏は言う。

「大学に入る前に1年のファンデーションコースという基礎課程に通うことになります。そこで成績に加え、トップ

レベルの大学の場合、Aレベルと呼ばれる資格試験も必要ですし、大学の面接もクリアしなければなりません」

高校卒業時点でこれを達成するのは非常に難しいようですが、大学に留学する際の別の問題です。留学指導の専門家である松永氏も、イギリスの名門校に学士課程で直接入学した例は、インターナショナルスクールの生徒以外に知らないという。

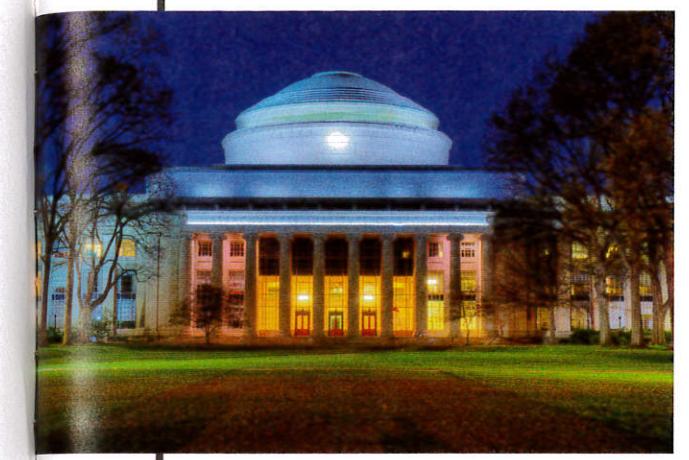
またもう一つ、イギリスの大学に留学する際の別の問題も存在する。

「イギリスの名門大学の場合、教育内容に高い実績があるほど、宣伝活動に手間をかけていません。情報収集は欠かせませんが、留学生に対して積極的に情報発信をしていないケースもあります」と日本外國語専門学校の齊藤典美氏は語る。

こうした事情もあつて、イギリスに留学する場合、日本で英語や大学のシステムに慣れてから、大学から留学するほ

ど、英語力も出願時に必要なスコアに達していないくて入学許可)を出す大学が多い

修学年数が1年増えるだけで、英語スキルと修士号を取得できる英國大学院留学のメリットは大きい。



世界中から科学者を集めているMIT。ノーベル賞受賞者数は80人にものぼる。

05

英国1年制大学院

「海外院卒」の称号を1年で。費用は奖学金なしで390万円

うが現実的だという。

「大学院からイギリスに留学する場合のメリットは、研究目的とする修士以外は1年で学位がとれる点です」(松永氏)

1年で卒業できる点は、日本で就職活動をすることを考えている奨学金をもらうチャンスも、学士課程より増える。

「イギリス大学院留学のもう一つのメリットは、アメリカの大学院出願に必要なGRE試験が不要である点です」(松永氏)

GRE試験とは、アメリカやカナダの大学院入学に必要な共通試験で、英語・数学・ライティングと専門分野(生物学や心理学など)の試験からなる。これがないだけで、大きな負担減につながるはずだ。

「また、英語力も出願時に必要なスコアに達していないくて

入学許可)を出す大学が多いが、修学年数が1年増えるだけで、英語スキルと修士号を取得できる英國大学院留学のメリットは大きい。

963年設立の比較的新しい東部ノーザンイースト・アングリア大学だが、環境科学や開発学、コミュニケーション学などの分野で評価が高く、2013年的学生満足度ランクインではイギリスの全大学中1位を獲得している。